

今号の主な記事

- ◇インターネット公売をスタート ……2面
- ◇技能功労者表彰 ……3面
- ◇市立中央病院に呼吸器センター開設…3面
- ◇「西宮虹舞台」の採用企画を決定 …4面
- ◇「にしのみや人権フォーラム」開催 …5面

子どもたち一人ひとりが輝く

夢はぐくむ教育のまち西宮

小学校での「親子読書会」の様子



教育委員会は、子どもたちがそれぞれの将来に向かって確かな学力を身につけることを願い、「夢はぐくむ教育のまち西宮」～志を支える～立志の里」を教育の柱として、西宮の教育を進めています。今年度から始めた取り組みについて紹介します。問合せは学校教育グループ (0798・35・3857)へ。

子どもたちに幅広い豊かな読書活動を 学力向上アクションプラン

市は、「学力向上アクションプラン」により、読書活動等を通じた学びの環境づくりをめざしています。

子どもたちの学力向上のためには、なによりも「学ぶ意欲・学ぶための基礎的な学力」を身につけることが大切です。その力は、幅広い豊かな読書活動を通して育成されます。そこで、さらなる学校図書館の整備充実に向け、今年度から4年間、次の3つの事業を進めていきます。

①「ブックフレンド」事業

子どもたちが本に親しみやすい環境を整備するために、学校

図書館の蔵書冊数を増やします。新しい本を購入して、小・中・特別支援学校の蔵書冊数が、文部科学省の定める「図書標準」冊数を上回るようにします。

また、幼稚園の図書購入予算も充実させ、市立高校も含めた学校図書館の整備を進めます。

②「ブックオアシス」事業

司書教諭の仕事の補助や学校図書館の整備のために、司書や司書教諭の資格をもつ指導員を週1回程度、各学校に派遣します。さらに、保護者を中心とするボランティアの皆さんの力を借りて、学校図書館の開館時間を増やし、子どもたちを笑顔で

迎え、読書の相談にのることが出来る学校図書館づくりを進めていきます。

③「しらべ博士」事業

子どもたちが学習や活動のために、自分で調べたり情報を得たりするときのよりどころになるのが、学校図書館の大きな役割の一つです。子どもたちが自分でパソコンを操作し、インターネットなどで最新の情報を調べ、教科学習や修学旅行の事前学習などに活用できる環境を充実させていきます。

市内の市立学校と市立図書館は、西宮市教育情報ネットワークシステム(通称「EduNet」)でつながっていて、自分の学校にない図書も利用できるようになっていきます。12月には、全学校図書館に調べ学習専用のパソコン3台を

家庭での学習をサポート

Edu-Homeから公開

学校では

市内の全市立学校は、光ネットワークで結ばれており、各学校での授業支援のために、西宮市教育情報ネットワークシステム「EduNet」を整備しています。今では、児童生徒が楽しんで学習に取り組めるよう、各学校で「EduNet」が提供する漢字・計算認定システムをはじめとした様々な学習コンテンツが活用されています。

家庭では

Edu-Home

基礎学力を身につけるために

は、学校での学習とともに、家庭での学習がとても大切です。このため今月から、市立学校に通学する児童生徒の家庭を対象に「EduNet」の機能の一部をインターネットで公開し、「EduHome(エデュホーム)」として、家庭のパソコンから手軽に利用できるようになりました(利用方法は下説明参照)。「EduHome」では、主に次の内容を提供しています。

- ①各教科(国語、算数、数学、英語等)の基礎基本のドリルシートデータ
- ②学習情報「いずみ」学習成果を収めたデータベース

Edu-Homeの利用方法

市のホームページ(アドレスはページ下参照)のトップ画面左端にある「西宮の学校」バナーをクリックし、次に「学校教育グループ」のページへ進んでください。

右上にある「Edu-Home」のリンクボタンをクリックし、教育委員会から各学校に通知された専用の「ユーザーID」と「パスワード」を入力し(下図参照)、ログインするとメニュー画面が表示されます。

Edu-Home ID、パスワード入力画面



- ③漢字・計算・理科等の学習ソフト
- ④各種学習クイズ(環境学習クイズ、地理学習クイズ等)
- ⑤調べ学習専用のリンクサイト集

各教科のドリルシートなどは、ダウンロードして印刷することで、すぐに学習に取り組むことができます。また、各種学習クイズなどは、大人も子どもと一緒に楽しめる内容になっています。今後も様々な学習コンテンツを追加していく予定です。学校では「EduNet」、

家庭では「EduHome」を通して、児童生徒の学習への興味・関心が少しでも高まっていくことを願っています。

市長からのメッセージ



西宮の子どもたちが、個性豊かなかけがえのない存在として愛されながら、たくましく育ち、能力を開花させ、そして世界を舞台に活躍してくれる人材へと育っていくように期待し、支援していきたいと思っています。

先日、本市は全国学力・学習状況調査の結果を公表いたしました。これは市民の皆さんが関心のあることについて積極的に情報公開していくと考えて行っているのです。私は、教育とは個別の数値にこだわることなく、子どもたち一人ひとりの学習や成長をいかに支援していくのが大切であると考えています。この調査結果を学習支援や教員能力向上のために活用していきたいと考えています。

このほかにも、さまざまな形で子どもたちの読書活動を支援

読書認定がスタート

新たに設置します。今後、この制度をより充実させ、子どもたちが自分で考え、必要とすることを調べるなど、より質の高い学習をするための図書館づくりを進めます。

「読書認定」は、今年度からスタートしました。
●本の出会い認定：図書目録「読んでごらんおもしろいよ」を活用して、本の出会いを楽しみ子どもを応援します
●読書の達人認定：自分自身の読書記録をもとに、自ら意欲をもって読書し、本と友たちらなる子どもを応援します